

# 「タイ環境学習キャンプ」特集～はじまってから20年⑦

## タイの連載⑦

中込 卓男

5月のゴールデンウィークに、タイでいつも私たちをお世話してくれるチナタッタさんが来日した。ラジャバト・プラナコーン大学の教授である。去年秋来日したラダワン先生やシリワット先生とよく一緒に活動している。最近では2015年3月に来日し、忍野八海へ黒澤さんが、鎌倉に木俣さんが案内した。

今回ゴールデンウィーク中なので観光地を避け、小菅村や藤野の友人たちとその活動を見ていただいた。5月5日、朝7:00すぎにゴミさんが羽田に迎えに行き、私(ゴメ)と合流、私の車で小菅村へ、まず松姫峠へ行っただ。富士山を見るのが目的である。何とか見えた。その後小永田の浅間神社でのお祭りを見学、加藤翔くんの舞を見た。



▲松姫峠で。▼小永田浅間神社祭 翔君と。



小菅の蕎麦屋を訪ねたがどこも人でいっぱい、結局「むらまつりキャンプ」を行っている善さんのキャンプ場でお昼ご飯をいただいた。



▲いつものキャンプ場で。オーナーの木下善晴さんと。

ゴミ、ゴメ、チナタッタさんの3人で小菅の湯が混んでいるので車で20分の丹波山村の温泉に行った。駐車場に入るまで少々列に並んだが、温泉は大丈夫であった。のんびりと湯につかった。タイでは温泉はあっても、バンガローのような個室が立ち並びプライベートな場所で入浴する。あるいは水着ではいる。昨年来日したタイ人を小菅の湯に連れてったが、アドベンチャーと言って、男湯でも2人のタイ人はこれだけは勘弁してくれと言って、腰に大きな布を巻いていた。湯船には布は持ち込まないという条件で。チナタッタさんは特別である。僕ら日本人と同じである。

夜は黒澤亭で、歓迎会。「とりあえずビール」から始まって、焼酎、ワイン、日本酒、ウイスキー、梅酒・・・こういう飲みかたは日本流とチナタッタさんは笑いながら言っていた。タイではビールならビールで最初から終わりまで通す。ウイスキーならウイスキーであるとのこと。昔はビールは高かったのでもっぱらウイスキーを飲んだと言っていた。今回タイで有名なウイスキー「メコン」を持ってきてくれた。皆で頂いた。米から作るウイスキーである。メコンというのは大きな川の名である。ログビルダーの若狭さんも参加してくれ、楽しい会となった。チナタッタさんは、梅酒が気に入ったようで、作り方を覚えていた。問題はタイで新鮮な梅が手にはいるかどうかだ。



▲写真右の黒澤さんが啜っているのが「メコン」翌朝はキャンプ場で朝食。チナタッタさんがタイ風卵焼きを作ってくれた。醤油を使っているのにタイの味なのは不思議、キャンプ参加者に大好評であった。



午前中、永作、西原と抜け藤野を目指す。2008年に一緒にタイに行った木下純子さん宅を訪問。

次に宮本透さんの茶畑を見学。ナマステ127号(2017年3月10日発行)『藤農便り』8号(宮本透)にこの茶畑との関わりが詳しく書かれている。



▲左から純子さん、宮本さん

午後は立川市にある「たちかわ創造舎」で、私の娘が主宰する演劇集団「鮭スペアレ」がシェイクスピアの喜劇「夏の夜の夢」を題材に中高生と一緒に音楽劇を創るワークショップを行い、その成果発表会を見に行った。暑い日であった。



▲たちかわ創造舎屋上での演劇「夏の世の夢」私的なことだが6月24日(土)に小菅村で「小菅村えんげきの日」と称し、たちかわ創造舎の3団体が演じる。鮭スペアレは音楽劇『ハムレット』を上演する。

この暑さではバンコクと変わらないと、避暑に来たのにと、チナタッタさんはつぶやいた。

夕方、東京での歓迎会である。私達ゴミ、ゴミに加え2年前と同じく中川さんも来てくれた。とりあえずビールから始まり日本酒、チューハイ、ハイボール・・・ここでもチナタッタさんは梅酒を飲んでいて、よほど気に入っている。バンコクにこの8月にも行くことになっている。今年は無理だが近いうちに中川さんも我々のタイツアーに参加してくれそうである。中川さんが来れば、バンライでの音楽仲間との宴もより楽しくなること間違いなしである。INCHまつりでもおなじみのキーボードの名手である。



▲立川市の居酒屋で。

5月7日(日)はのんびりと我が家へ来ていただいた。そこで恒例となったタイ料理を作っていた。タイにはごぼうがないということで、ゴミさんがごぼう料理を一品作った。



夜は木俣さんもおいでくださり、4人で東京最後の夜の宴会となった。



今年も8月11日(金)～20日(日)に「タイ環境学習キャンプ」が行われる。今回もチナタッタさんにいろいろお世話になる。

まず、素敵なノイズプレイスに連れて行ってくれる。最近では飲酒運転の取り締まりが厳しくなり、タクシーで行くことになっている。場所はゴミさんがリクエストしたなかなか大音響の場所である。



▲トムヤムクン、グリーンカレー、ラープ風味の挽肉、母が作った花豆の煮もの、山芋の煮もの、女房が作った鶏肉のから揚げも並んだ。

昼食後は南大沢のアウトレットモールに行き、ショッピング。



▲昨年のノイズプレイス。3リットルの生

ビールのタワーがそびえる。舞台ではいろいろな歌手が楽しいショーを大音量で繰り広げる。

ワークショップも行う。2回。なかなか好評なのだが、準備が大変。今年はこんにゃくいもの調理法もやる。タイではこんにゃくは茎を食べる。いもは食べないのである。

バンコクからはなれ、バンライのパンダキャンプにも行く。地元でバンド活動をしている古くからの友人たちがいて、今回も来てくれるだろう。楽しい宴が待っている。参加者は日本の歌を披露する。今年は「北酒場」も歌う予定。タイで人気がある歌の一つとのこと。



今年も8月19日(土)にバンコクで日本人のフォーク歌手、豊田勇造のライブがある。昨年初

めて行って、とても楽しかった。今年もいけたらいいな。



▲チナタッタさんが案内してくれた。



▲左はカラワンのモンコンさん。右が豊田勇造さん

## 『藤農便り』 第9号

宮本茶園 tetote farm

宮本 透

春の彼岸過ぎから畑仕事が忙しくなってきました。内郷から佐野川の畑を回って作業をしていると、体はクタクタです。閉店間際のスーパーで半額になった惣菜を買い、帰宅して夕飯を食べるとウトウトします。夜9時過ぎには爆睡、朝5時に起床して朝風呂に入り、てくてくのパンを食べながら趣味のYouTube鑑賞、それから畑に向かいます。お薦めの春アニメは、東京での就職活動に苦戦する女子短大生が野間山という田舎町の観光大使になり町おこしに奮闘する「サクラクエスト」と川越の中学3年生男女の甘酸っぱい初恋を描いた「月がきれい」です。畑仕事で汗を流しアニメをみて疲れた体と心を癒す毎日、もうこの世界から抜け出せません。

### ・児童クラブ勤務

相模原市より「非常勤職員に任用する」という辞令をいただき、3月中旬より児童クラブ勤務が始まりました。昨年11月から現金収入の無い生活でしたので、4月に振り込まれた給料は本当にありがたかったです。職種は「児童育成補助員」、保護者が昼間家庭にいない小学1～3年生の子どもたちの放課後の見守りや生活指導が主な仕事です。作業着をジャージに着替えて出勤、子どもたちと部屋でゲームをし、校庭でサッカーやドッジボールをして遊びます。